



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社三洋堂ホールディングス

コード番号 3058 URL <http://www.sanyodohd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者兼最高執行役員 (氏名) 加藤 和裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画室長 (氏名) 伊藤 勇 TEL 052-871-3434

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	9,886	△5.3	△9	ー	△3	ー	△2	ー
30年3月期第2四半期	10,440	△2.4	73	64.1	88	74.0	55	151.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △9百万円 (ー%) 30年3月期第2四半期 106百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△0.45	ー
30年3月期第2四半期	9.50	9.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	16,523	4,759	28.8
30年3月期	15,842	3,377	21.3

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 4,759百万円 30年3月期 3,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
31年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
31年3月期(予想)	ー	0.00	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△6.2	△90	ー	△60	ー	△300	ー	△44.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	7,400,000株	30年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	116,606株	30年3月期	116,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	6,283,394株	30年3月期2Q	5,882,823株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調にあるものの、懸念される米国の保護主義政策の動向などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。一方、政府による働き方改革により、健康で豊かな生活のための時間の確保が推奨されるとともに、長時間労働の是正等が進みつつあります。

当社グループを取り巻く事業環境は、動画や音楽配信、スマートフォン等による時間消費の多様化の影響を受け、雑誌やレンタルの市場の縮小が続く一方、楽しさや学び、健康等を大切にするライフスタイルの定着により、新たな市場が広がりをみせています。

このような経営環境のもと、当社グループは新刊書籍・雑誌やDVD・CDのレンタル・販売を核として、文具や雑貨などの販売部門を、お客様のニーズの変化にあわせて拡大するとともに、学びたい、健康になりたいといった人生を豊かにしたいというニーズにあわせて教室、フィットネス等を併設した店舗を「ブックバラエティストア」として展開を進めております。

当第2四半期連結累計期間においては、香久山店(愛知県日進市)、小牧店(愛知県小牧市)の2店舗の移転増床及び下恵土店(岐阜県可児市)の増床をおこないました。一方で、磐田店、塩釜店を閉店したことから、第2四半期末時点で81店舗6校となりました。また、瑞浪中央店(岐阜県瑞浪市)、小牧店(愛知県小牧市)の2店舗に「スポーツクラブアクトスWill_G(ウィルジー)」を導入し、フィットネス導入店舗は3店舗となりました。

オペレーション面では、前年度に引き続きレンタル専用セルフレジを8店舗(累計9店舗)に導入するとともに、営業時間の見直しを9店舗でおこなうなど、収益力強化のために、抜本的な生産性向上策を進めました。

また、8月に株式会社トーハン(以下、「トーハン」という。)と資本業務提携契約を締結いたしました。両社の信頼関係を深め業務提携を円滑に推進するため、第三者割当による新株式発行によりトーハンに当社の普通株式140万株の割当をいたしました。これにより13億91百万円の資金調達を行ない、新規事業展開を推進する予定です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高98億86百万円(前年同四半期比5.3%減)、営業損失9百万円(前年同四半期は営業利益73百万円)、経常損失3百万円(前年同四半期は経常利益88百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失2百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益55百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 個人顧客事業

個人顧客事業の売上高は、新規事業部門、文具・雑貨・食品部門、古本部門が健闘いたしましたが、他の各部門で厳しい推移が続く、全体では97億54百万円(前年同四半期比5.4%減)となりました。また、積極的に新店や増床、フィットネス事業の導入投資を進めたため、関連する経費が増加したことから、セグメントの営業利益は22百万円(同78.4%減)となりました。

個人顧客事業のうち、主要な部門の売上高前年同四半期比は、書店部門5.8%減、レンタル部門9.9%減、文具・雑貨・食品部門3.0%増、セルAV部門2.7%減、古本部門1.9%増、TVゲーム部門24.6%減となり、新規事業部門については、前年度の11月に導入を開始したフィットネス事業が売上に貢献したことから、54.4%増となりました。

② サービス販売事業

不動産賃貸収入、自動販売機収入、受取手数料、保険代理業収入などによるサービス販売事業の売上高は、1億31百万円(同0.6%減)となり、セグメントの営業利益は95百万円(同5.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は165億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億81百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加などにより流動資産が3億54百万円増加したこと、建物及び構築物の増加などにより固定資産が3億26百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては117億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことから流動負債が4億72百万円減少し、長期借入金の返済が進んだことなどから固定負債が2億28百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては47億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億81百万円増加いたしました。これは主に、第三者割当増資により資本金が6億96百万円、資本剰余金が6億95百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、今後の進捗状況により、連結業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,335,826	2,608,931
売掛金	101,298	95,122
商品	5,771,283	5,746,372
その他	307,682	420,635
流動資産合計	8,516,090	8,871,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,771,836	1,973,253
土地	2,580,060	2,580,060
その他（純額）	284,996	487,305
有形固定資産合計	4,636,893	5,040,619
無形固定資産	142,621	139,072
投資その他の資産	2,547,065	2,473,170
固定資産合計	7,326,580	7,652,862
資産合計	15,842,671	16,523,924
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,738,994	7,413,192
1年内返済予定の長期借入金	588,884	511,296
未払法人税等	33,054	15,159
賞与引当金	51,093	69,844
ポイント引当金	177,340	163,980
資産除去債務	34,574	—
その他	412,412	390,498
流動負債合計	9,036,352	8,563,971
固定負債		
長期借入金	2,419,286	2,170,202
退職給付に係る負債	317,024	322,191
資産除去債務	623,527	640,196
その他	68,900	68,097
固定負債合計	3,428,738	3,200,688
負債合計	12,465,090	11,764,659

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,000	1,986,000
資本剰余金	1,025,396	1,720,996
利益剰余金	1,058,556	1,055,707
自己株式	△100,520	△100,520
株主資本合計	3,273,432	4,662,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,746	90,934
退職給付に係る調整累計額	7,248	6,058
その他の包括利益累計額合計	103,994	96,992
非支配株主持分	153	89
純資産合計	3,377,580	4,759,265
負債純資産合計	15,842,671	16,523,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	10,440,248	9,886,776
売上原価	7,296,331	6,856,880
売上総利益	3,143,916	3,029,895
販売費及び一般管理費	3,070,695	3,039,765
営業利益又は営業損失(△)	73,221	△9,869
営業外収益		
受取利息	1,733	1,875
受取配当金	2,980	3,455
受取保険金	3,378	5,336
協賛金収入	4,879	5,567
その他	12,067	10,223
営業外収益合計	25,040	26,458
営業外費用		
支払利息	9,122	7,688
株式交付費	—	11,630
その他	310	298
営業外費用合計	9,432	19,617
経常利益又は経常損失(△)	88,828	△3,029
特別利益		
固定資産売却益	—	11,669
新株予約権戻入益	3,024	—
特別利益合計	3,024	11,669
特別損失		
固定資産除却損	0	1,445
特別損失合計	0	1,445
税金等調整前四半期純利益	91,852	7,193
法人税、住民税及び事業税	40,851	6,036
法人税等調整額	△4,916	4,071
法人税等合計	35,934	10,107
四半期純利益又は四半期純損失(△)	55,917	△2,913
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	23	△64
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	55,893	△2,848

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	55,917	△2,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,952	△5,811
退職給付に係る調整額	△1,247	△1,189
その他の包括利益合計	50,705	△7,001
四半期包括利益	106,623	△9,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,599	△9,850
非支配株主に係る四半期包括利益	23	△64

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年8月31日付で、株式会社トーハンから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が696,000千円、資本剰余金が695,600千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,986,000千円、資本剰余金が1,720,996千円となっております。